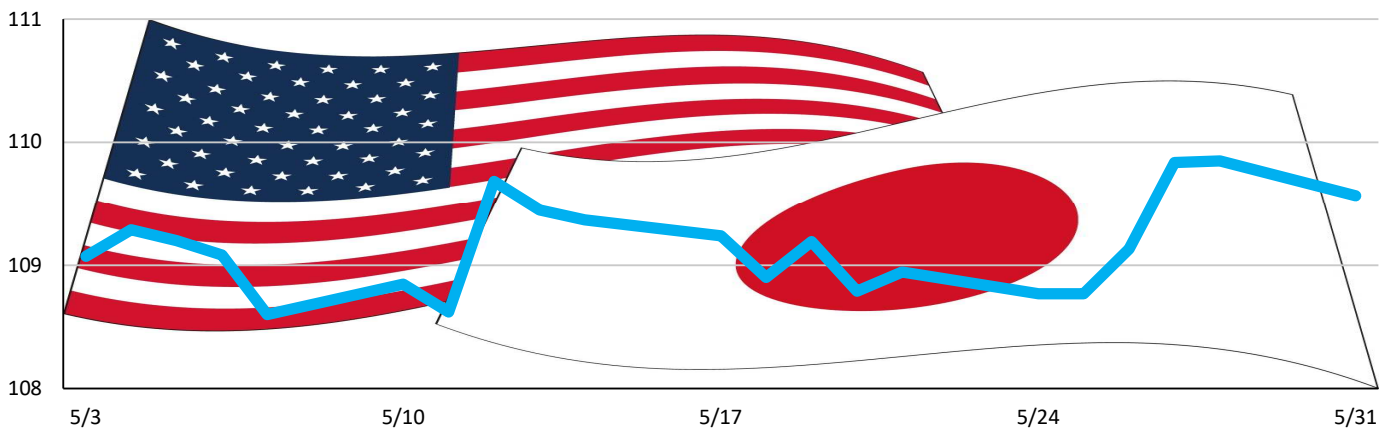


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り：**5月のドル円相場は108円半ば～110円前半で推移。月初に発表された米雇用統計の結果が楽観視していた市場予想を下回ったことで、量的緩和縮小が先送りされる懸念が台頭し、ドルは全面安。その後発表された消費者物価指数が市場予想を大幅に上回ったことで、今度は量的緩和縮小が前倒しとなる見通しで、一転ドルは全面高となるなど荒い展開。その後はビットコインを筆頭に仮想通貨市場の急落で金融市場が混乱する中、狭いレンジながらややドル売りの流れとなった。月末にはパネッタECB専務理事の発言をきっかけにユーロ売りドル買いが加速しドル円は110円を回復したが長続きせず、110円台達成感による売りに押されて5月を終えた。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



## EXTRA VISION

**今後の展開：**先進国を中心に新型コロナワクチン接種者が増えてきているが、日本に関してワクチン接種の遅れが指摘されていることや、OECDが発表した各国の21年度経済成長率予測が改善される中、日本の予測が下方修正されたことが潜在的な円売り要因となっている。またバイデン米大統領による財政出動期待の高まりもドル買い要因となっていることを踏まえた上でポジションを構築していきたいが、最近では経済指標発表に予想以上に反応する場面もあり、注意を払っておいた方が良さだろう。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
6 / 17 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
6 / 18 (金)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
6 / 24 (木)	20 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
6 / 24 (木)	21 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
6 / 25 (金)	21 : 30	US	個人消費支出	☆☆☆☆
7 / 2 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
7 / 13 (火)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆